

としょかん つか
図書館を使った

しら がくしゅう
調べる学習コンクール

しら がくしゅう
調べる学習の

すす かた
進め方

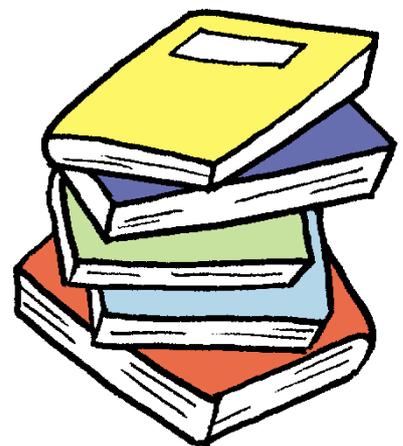


しら がくしゅう 調べる学習のステップ

① しら ほうほう かんが
調べる方法を考える

② しら きろく
調べて記録しよう

③ さくひん
作品にまとめよう



ステップ① ^{しら}調べる方法を^{かんが}考える

^{としょかん}図書館で^{しら}調べる以外にも、いろいろな^{しら}調べ方が^{かた}あります。

^{じぶん}自分が^し知りたいことを^{しら}調べるには、どんな^{ほうほう}方法があるのか、

^{かんが}考えてみましょう。

<p>^{としょかん} ^{しら} 図書館で調べる</p> 	<p>^{としょかん} 図書館には「^{じてん}辞典」や「^{ずかん}図鑑」など^{しら}調べるための^{ほん}本がたくさんあります。</p> <p>^{じぶん}自分が^{しら}調べるテーマについて^か書いてある^{ほん}本を^{さが}探して、 ^{ほん}その本で^{わか}わかったことや^{どうして}どうしてだろう?と^{おも}思ったことを ノートなどに^か書いておきましょう。</p>
<p>インターネットで^{しら}調べる</p> 	<p>^{せかいじゅう} ^{じょうほう}世界中の^と情報がの^おつていたり、^{ひと}遠くの人や^{ばしょ}場所の^{ようす}様子 ^みを見ることが^{でき}できます。</p> <p>⚠ インターネットの^{じょうほう}情報の中には、 まちが^{じょうほう}つていたり、あやしい^{じょうほう}情報もあります。</p> <p><u>おとな</u> ^{ひと}大人の人と^{しら}いっしょに^{しら}調べましょう</p>
<p>^{かんさつ} 観察する</p>	<p>^{しゃしん} ^と写真を撮ったり、ノートなどに^{きろく}記録すると、 ^{いま} ^き今まで^{はっけん}気づかなかったことを^{しら}発見^{かんが}できます。</p>

インタビューする

ほか ひと ねが
(他の人をお願いをして

はなし き
話を聞くこと)



ほん ひと
本ではわからなかったことなどを、くわしい人に聞いて

みましょう。

ほん あたら じょうほう おし き
本より新しい情報を教えてもらえたり、聞くことで

あたら はっけん
新しい発見があるかもしれません。

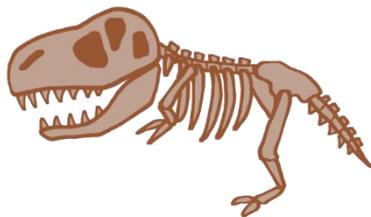
◎インタビューの方法

ひと あ い はなし き
・くわしい人に会いに行き行って話を聞く

ひと てがみ おく
・くわしい人にお手紙やメールを送る

博物館や資料館へ

い
行く



ほんもの ほんもの つく てんじ
本物や本物そっくりに作ったものなどが展示されて

いたり、れきし せつめい
歴史などがわかりやすく説明されています。

◎こんな場所でも調べられます

どうぶつえん すいぞくかん しょくぶつえん
・動物園・水族館、植物園

かがくかん
・科学館

実験する

ほん しら じぶん かんが じっけん
本で調べたことや自分が考えたことを実験してみる

じぶん よそう たし
と、自分の予想があっているかどうか確かめることが

できます。

いろいろな方法で確かめると、自分が知りたいことだけじゃなく、

あたら はっけん
新しい発見もあるかもしれません。

としょかん ほん つか しら とき さつじょうあつ
また、図書館の本を使って調べる時は2冊以上集めて、

くら
比べてみましょう。

ステップ② しら調べてきろく記録しよう

しら調べてわかったことやどうやってしら調べたのかをノートにか書いたり、
きろく記録カードをつく作ってみましょう。

さいご最後に自分がしら調べたことをまとめるときに、とてもやく役に立ちます。

◎ノートや記録カードに書いておくこと

- ・いつしら調べたか（〇月〇日）※かんさつ観察するときはじかん時間・てんき天気もか書いておく
- ・調べたときにつか使ったほん本のタイトルやか書いた人のひと名前
- ・わかったこと・き気づいたこと
- ・調べに行つたばしょ場所のなまえ名前

記録カードのつく作り方

調べたいこと	
わかったこと	<small>しら</small> 調べた日：〇月〇日
<small>つか</small> 使った資料（本）	<small>ほん</small> 本の名前： <small>か</small> 書いてあったページ：

◎こんな記録のきろく方法もほうほうあります

- ・イラストをかかいて記録する 
- ・写真をとっておく （他の人ほかや他の人ほかの物ものをとる時は、
必ずその人ひとに写真しゃしんをとってきいかを聞きましょう。）

ステップ③ ^{さくひん} 作品にまとめよう

【^{ほうほう}どんな方法でまとめる?】

○ノートやレポート用紙^{ようし}を使う

^{ひょうし}表紙や^{もくじ}目次をつけて、^{ほん}本のようにまとめることができます。

ホッチキスやテープでとめたり、ポケットクリアファイルに書いた用紙を入れていってもかまいません。

○^{おお}大きな紙（^{かみ}もぞう紙・^しがよう紙など）を使う

1枚^{まい}で^{しら}調べたことをたくさん^か書くことができます。

ポスターや「^{しんぶん}〇〇新聞」などを^{つく}作ることができます。

△ B4 サイズまで^やか^ぎ八つ切りサイズで^{さくひん}作品を作ってください。

（^{おお}大きさは^{ひと}おうちの人といっしょに^{かくにん}確認してください）

○パソコンやタブレット^{つか}を使って^{さくせい}作成する

^{もじ}文字のデザインを^か変えたり、^{しゃしん}写真などを^す好きな^{おお}大きさにすることができます。

△ ^{もじ}文字の^{おお}大きさは11ポイント以上で^{いじょう}作り^{つく}ましょう。



【書いていく順番】

最初 <small>さいしよ</small>	<p>① 調べようと思ったきっかけ</p> <p>② 調べる前に考えたこと（予想したこと）</p> <p>③ 調べた方法</p>
次 <small>つぎ</small>	<p>④ 調べてわかったこと</p>
終わり <small>おわり</small>	<p>⑤ 予想とちがうところはありましたか？</p> <p>⑥ 調べた後の感想</p>
完成 <small>かんせい</small>	<p>⑦ 調べるときに使った本などを最後のページに書きましょう。 （「参考文けん」といいます）</p> <p>⑧ 表紙に書くタイトルを決める</p> <p>⑨ 目次を作る（※本のように作品を作る人だけです）</p> <p>⑩ おうぼカードを作品にはる</p>

【すてきな作品を作るには】

- ・みんながあなたの作品を読みたいと思うようなタイトルをつける。
- ・本やインターネットに書いている言葉をそのまま書かない。
必ず疑問に思ったこと、調べた方法、わかったことなどを
自分の言葉で書くこと。
- ・イラストをかいたり写真をはる
- ・地図やグラフを書いてみる
（文章で書くと長くなったり、わかりづらい時に使ってみましょう）
- ・自分が一番伝えたいところに線を引いたり、色を変えて強調させる。

【作品を作るときに注意すること】

● 本の中の文章をそのまま書くときは「^{ほん なか ぶんしょう}」(かぎかっこ)をつけましょう。

^か書いた人の文章をそのまま写して、^{うっ}自分が^{じぶん}考えたように^{かんが}書いてはいけません。

● 「^{ぶんしょう}」(かぎかっこ)をつけた文章を書くときは、どの本から^{ほん}書いたのかがわかるように「^{しゅってん}出典」を必ず^か書きましょう。

※ 出典とは…^{しゅってん}書名、^{しょめい}著者名、^{ちよしゃめい}出版社(発行したところ)、^{しゅっぱんねん}出版年、

^{いんよう}引用したページなどのことです。

^{ほん}本の最後のページに^{さいご}まとめて^か書いている「^{おくづけ}奥付」を^{さが}探して^か書きましょう。

保護者の方へ

※ 調べるときに使った本など(参考文献)の書き方は、公益財団法人図書館振興財団のホームページ <https://concourts.toshokan.or.jp/>の「応募要項」「参考文献リストの書き方」を御覧ください。「参考引用文献リスト用紙」をダウンロードすることができます。

「調べる学習の進め方(高学年)」作成時に参考にした資料

・『調べるって、おもしろい!マンガでわかる小学生の調べる学習ガイド』(岩崎書店)

公益財団法人図書館振興財団・監修、岩崎書店編集部・編著

※この資料は甲西図書館で所蔵しています(夏休み期間は館内閲覧のみ)